

スマイル

明生リハビリテーション病院季刊誌 Vol.17



Photo
9月27日
第4回
関東カマチグループ
合同学術研究大会

Contents

- 2P 巡回バス 運行開始のお知らせ
- 3P 医師紹介
- 4P 第4回 関東カマチグループ合同学術研究大会
- 5P 9月22日 自衛消防訓練を行いました
- 6P 山田 達夫健康コラム
- 7P りらいふ通信・フットサル企業対抗
- 8P 11月 食事会について

巡回バス



運行開始のお知らせ

平成26年11月4日(月)より、かねてより多数の方よりご希望のあった巡回バスの運行を開始しております。巡回バスは狭山ヶ丘駅と当院を行き来します。今まで、ご来院される方には交通面でご不便をおかけいたしました。今後解消していければと考えています。送迎バスは下の写真の車両になります。是非、ご利用下さいませ!!

送迎バス時刻表										
	月		火		水		木		金	
	当院	狭山ヶ丘	当院	狭山ヶ丘	当院	狭山ヶ丘	当院	狭山ヶ丘	当院	狭山ヶ丘
	出発	出発	出発	出発	出発	出発	出発	出発	出発	出発
AM	9:15	9:30			9:15	9:30			9:15	9:30
	10:55	11:10			10:55	11:10			10:55	11:10
PM	13:45	14:00	13:45	14:00	13:45	14:00	13:45	14:00	13:45	14:00
	14:45	15:00	14:45	15:00	14:45	15:00	14:45	15:00	14:45	15:00
	15:45	16:00	15:45	16:00	15:45	16:00	15:45	16:00	15:45	16:00

- 明生リハビリテーション病院発のバスは正面玄関より出発します。
 - 狭山ヶ丘発のバスは駅東口ロータリーになります。
 - 交通状況により到着時間は前後いたします。
 - 出発時間厳守で発車いたしますのでご了承ください。
 - 土日祝日は運休となりますのでご注意ください。
- ※状況により運休する場合があります。

お問い合わせ

明生リハビリテーション病院
地域医療連携室 山本
TEL:04-2929-2220



医

師

紹

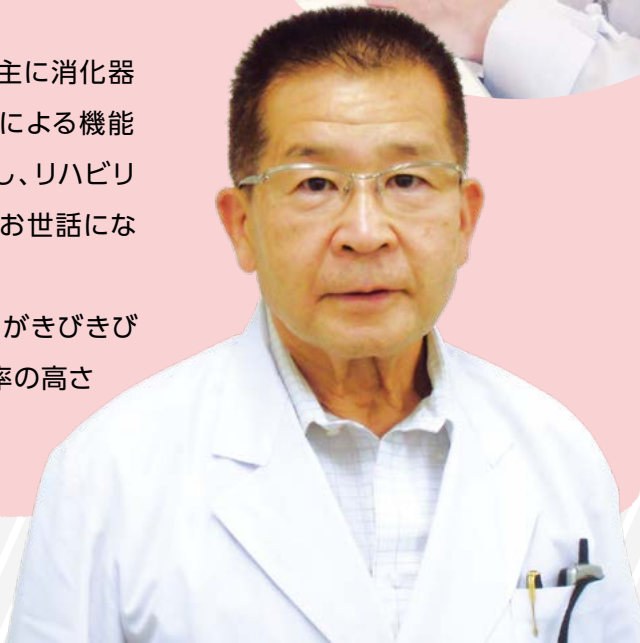
介

当院に新しく外来医師が2名入職されました。
今後より良い医療を提供できるように努めて参ります。



初めまして木内博之です、一般外科医として主に消化器系の疾患に携わってききましたが、脳血管疾患等による機能障害に対する最近の運動治療学の進歩に驚愕し、リハビリテーション科の医師として、7月1日より当院にお世話になることになりました。

入職し約3か月経過しましたが、スタッフ各々がきびきびと働いている姿、入院患者の自立度、在宅復帰率の高さに改めて敬意と誇りを感じています。



リハビリテーション科
木内 博之先生

初めまして9月に入職いたしました向井 智彦といたします。

専門は内分泌代謝で、これまで糖尿病や脂質異常症・肥満などの生活習慣病を見ることが多かったです。運動療法にも興味があり、代謝疾患に有効な「運動」についても皆様と一緒に考えていけたら良いなと思っております。

趣味はウォーキングです。小手指駅や狭山ヶ丘駅から病院まで歩いて通勤しております。明生リハビリテーション病院は狭山丘陵に位置し周辺は緑に富み空気も澄んで、歩く度に代謝がスムーズに回り、心身ともにリフレッシュしていくのを実感しております。

皆様どうぞ宜しくお願い致します。



リハビリテーション科
向井 智彦先生



看護部 忍足美和・リハビリテーション科 石田拓也
2名が金賞を受賞しました!!

第4回

関東カマチグループ 合同学術研究大会

看護部 忍足 美和

今回学術研究大会に参加して、他病院の研究内容は今後当院でも取り入れていきたい内容が多くありました。

私たち2階病棟看護部では、手洗いに着目して研究を行いました。

片麻痺のある患者様に協力していただき、手洗い指導を行った結果、洗い残しがほとんどなくなったという結果となりました。また、麻痺のある側も継続して洗うことで麻痺の機能改善に繋がるという情報も得た為、継続して手洗い指導をリハビリスタッフ・ケアワーカーと行っていきますと思います。ご協力していただいた患者様・ご家族に改めて感謝を申し上げます。

これからも当病院をより良くしていくため日々前進していきたいと思うのでよろしくお願いいたします。



平成26年9月22日

自衛消防訓練

医事課 手塚 佑

9月22日(月) 病院内にて、自衛消防訓練が行われました。

今回は夜勤帯を想定とした消防訓練を行い、非常ベルを鳴らし、各部署の職員が通報連絡・避難誘導・初期消火の訓練を行い、その後、消火器・補助散水栓の取り扱い方法を学び、実際に放水体験をさせて頂きました。

今後万が一に備え、職員全員が速やかに対応できるように努めていきたいと思っております。

避難誘導



通報連絡



補助散水栓訓練



消火器訓練





Alzheimer病(AD)合併患者でのリハビリテーション治療による FIM(Functional Independence Measure)利得は十分満足すべきものであった

今回の報告では赤羽リハビリテーション病院職員の皆様のご協力を得て昨年度に行った認知症調査をさらに進めて、退院時のFIMやMMSE (Mini-Mental State Examination) のデータを取得したうえで、AD合併患者のみで得られたFIM利得が患者さんや家族にとって十分に満足すべきものと評価された点を強調させていただきます。

2013年10月から12月までに赤羽リハビリテーション病院に入院した患者さんのうちMMSEが23点以下の方を対象に、神経学的診察、心理検査と頭部CT scanを実施し、ADあるいはMild Cognitive Impairment (MCI) due to ADとかが否かを診断しました。MCIとは正常加齢と認知症の中間的認知障害を示し、基本的になんとか自立した生活ができる状態で、Clinical Dementia Rating (CDR) 0.5が適用され方たちです。一方認知症とは後天的な器質的疾患により、多種の認知機能が低下し、人様の世話にならなくなった状態を指します。従って問診や検査で記憶のみの障害の場合はMCIと診断されます(正確には健忘性MCIであり、MCI due to ADとも呼ばれますが、実際にはこの状態でもADである可能性が高いと考えられています)。

新入院患者さんの中からランダムに54名を選択して解析しましたところ、ADあるいはMCI due to ADを合併していると診断された患者数は25名でありました。その多くの方が整形外科疾患に対するリハビリテーション治療目的で入院された方であることは前回報告したとおりであります。

今回はそれらの患者さんの入院直後と退院直前のFIM利得を調査しました。同時に両時期のMMSEの得点差も検討し、認知症合併のリハビリ治療に及ぼす影響を解析いたしました。

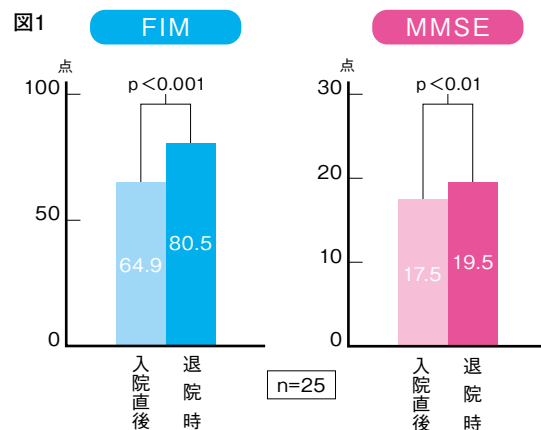
結果は以下の通りであります。①患者さんはAD19名とMCI due to AD 6名であり、②1名の男性ADを除いて他の24名すべてが女性でありました。③FIM利得は明らかであり、入院直後FIMの平均値は64.9点(SD18.5)であるのに対し、退院直前には80.5点(SD22.1)と統計学的にも明らかな差($p<0.001$, t-test)を認めました(図

1)。1名のみが悪化していました。④一方、MMSEについても入院直後の平均値が17.5点(SD5.5)であったものが、退院直前には19.5点(SD5.8)と改善しておりました($P<0.01$, t-test) (図1)。4名のみが悪化していました。

⑤FIM利得とMMSEとの相関は認めておりませんでした(Spearman test)。

以上FIM利得やMMSEの得点推移は、たとえ認知症が合併していたとしても、リハビリ治療による運動・認知機能改善は明らかであることを示しています。2014年度の回復期リハビリテーション病棟の現状と課題に関する調査報告書には整形外科疾患の患者さんに対して8単位以上のリハ治療は平均18.3点のFIM利得を示したと報告されています。認知症の合併は当然FIM利得に影響を与えるものの(特に認知面でのFIM利得)、上記のような利得幅(15.6点)が得られたということは、認知症のある患者さんにおいても当方が行っているリハビリテーション治療は十分満足すべき運動機能回復をもたらさうと考えられます。

24時間のリハビリテーション治療を実践して、全職員挙げて365日休むことなく治療行為を行っている蒲池グループの治療方針が、たとえ認知症を合併していたとしても、在宅復帰を可能せしめる十分な成果を生んでいるということを証明していると考えます。





りらいふ施設長の変更について

8月1日に明生リハビリテーション病院からりらいふに異動になり、9月1日付で請謁ながら施設長に就任しました大木孝介と申します。リハビリテーション病院では理学療法士として患者様の訓練に携わっていましたが、りらいふでは管理業務を主に行うということで、ガラリと仕事の内容が変わりました。そんな変化に戸惑いながらも、多くの方々からのご指導を受け、りらいふでの生活に慣れてきたように思います。利用者様に“ゆっくり、一緒に、楽しく、元気に、いきいきと”過ごしてもらえるような環境を、スタッフと協力しながら作っていきたくと考えています。

最後に……

私の名前である『孝介』を分析すると、“親『孝』行をして、『介』助する”となります。名前に恥じぬよう、りらいふに通う利用者様を親のように思い孝行・介助をしていきたいと思ひます。

りらいふ 大木 孝介



企業対抗フットサル大会



平成26年9月13日(土)企業対抗フットサル大会に参加しました。

今年初の大会で緒戦は緊張で体が思うように動かない場面もありましたが、試合の進行とともに緊張もほぐれ、いい動きが出来るようになりました。試合をさせていただいた企業の方とは

全てが熱戦で、他の企業の方ともフットサルを通じて交流を図ることが出来ました。今回は3位で決勝大会には行けませんでした。次回は決勝大会に進めるよう練習を積んで挑みたいと思ひます。

リハビリテーション科
理学療法士 田村 公介



風邪防止の薬膳メニュー

寒さが増してくるこの季節。空気の乾燥も気になりますよね。
今回は冬の2大美容トラブル「冷え」や「乾燥」を防ぎ、風邪に負けない
体づくりを助ける薬膳メニューをご紹介します。

明生リハ 11月行事食

おすすめ冬の薬膳メニュー

- 豆乳坦々麺
- 野菜のミルフィーユ〜ゆずハニーソースがけ〜
- 薬膳あんみつ



効能

豆乳 …… 喉の乾燥、喘息、疲れを軽減する働きがあります。
ゆず …… 食欲不振や消化不良、咳や痰に効果があります。
黒蜜 …… 体を温め、冷えや疲労を和らげる働きがあります。
生姜 …… 発汗を促し、風邪の初期症状を治す働きがあります



一般社団法人 巨樹の会

明生リハビリテーション病院

〒359-1106 埼玉県所沢市東狭山ヶ丘 4-2681-2
[西武池袋線] 狭山ヶ丘駅東口下車 徒歩 15分

タクシーをご利用の場合
西武池袋線小手指駅北口より約5分

お問い合わせ

TEL 04-2929-2220
FAX 04-2939-2136

交通のご案内

